※令和４年度以降入学生用

学校番号	3023

令和８年度　国際文化

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
国際文化	Super English II	1	2	自主教材

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「聞くこと・読むこと・話すこと（やり取り）・話すこと（発表）・書くこと」の５領域の飛躍的な向上を図り、高度で実践的な使える英語力を身につけ、英語能力テストである TOEFL で高得点を取ることをめざす。まとまった分量の英文を扱い、トピックセンテンスを押さえ、論理の展開・大意を把握するパラグラフリーディングのトレーニングを行う。また、英語の教材を通して、様々な地球上の課題についても学びあい、それらを解決するために高校生にできることを協議・発表して、当事者としてそれらの解決に積極的に取り組む姿勢を育て、未来に貢献できる地球市民を育てることを目指す。

２ 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第２学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと

※令和４年度以降入学生用

学習到達目標	・比較的聞き取りやすい身近な話題や自分が関心を持つ社会性のある話題について、情報や考えなどの概要をとらえることができる。 ・自分の得意とする分野に関する自然な早さで話されるスピーチや会話を聞いて（３～５分）、ポイントをつかみながらに概要を理解することができる。 ・リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら聞くことができる。 ・身近なトピックについての短いニュースの要点を聞きとることができる。 ・未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用しながら聞くことができる。	・まとまりのある英文(説明、評論、物語、随筆など)を後戻りすることなく一定時間内に読み、各段落のトピック、サポート、例示、詳細などを抑えながら、全体の要旨や詳細をとらえることができる。 ・説明、評論、物語、随筆などを、聞き手に伝わるように音読したり暗唱したりすることができる。 ・読む内容やジャンル、目的に応じて、読み方を変えることができる。 ・読んだ内容に関する質問に対して、文章中の適切な語句を用いて答えることができる。 ・文章の構成を考えながら読むことができる。 ・未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用しながら読むことができる。	・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり調査したりして結論をまとめることができる。 ・事実や意見等を多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら、自分の意見を伝えることができる。 ・興味・関心のあるトピックに関して、具体的な理由を示しながら、説得力を持って、賛成や反対の意見を述べることができる。 ・説明や描写の表現を工夫して、相手に効果的に伝わるように話すことができる。 ・与えられた条件に合わせて、即興で話すことができる。 ・英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら話すことができる。	・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことを、情報や考えを整理し、その内容を発表することができる。 ・興味・関心のあるトピックに関して、具体的な理由を示しながら、説得力を持って、賛成や反対の意見を述べることができる。 ・説明や描写の表現を工夫して、相手に効果的に伝わるように話すことができる。 ・英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら話すことができる。	・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、つなぎの語やフレーズを活用して、まとまりのある文章を書くことができる。 ・事実や意見等を多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら、つなぎの語やフレーズを活用して、書くことができる。 ・特定のトピックに関して、参考文献やインターネットなどから情報を収集し、それをまとめた文章を５パラグラフの形式で書くことができる。 ・説明や描写の表現を工夫して、相手に効果的に伝わるように書くことができる。 ・与えられた条件に合わせて、即興で書くことができる。

３ 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけている。	・コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えあったりしている。	・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的・自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1	1課～4課	聞くこと	a: 音声・語いなど理解を深める b: 情報や考えの概要を的確に活用できる c: 話し手に配慮し、主体的にコミュニケーションを図ろうとする	個別の面接テスト（NET による）、
		読むこと	a: 語彙、表現など理解を深める b: 情報や考えの概要を的確に活用できる c: 書き手に配慮し、背景にある文化に対する理解を図ろうとする。	面接テスト、課題
		話すこと（やり取り）	a: 目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる b: 情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えたりできる c: 聞き手・話し手に配慮し、主体的にコミュニケーションを図ろうとする	個別の課題発表
		書くこと	a: 語彙、表現、文法、言語の知識を、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる b: 日常的な話題や社会的な話題について、情報や考えなどの概要や要点、詳細、書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えたりできる c: 読み手に配慮しながら、主体的・自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている	課題・レポート（要約、下調べ、等）
	中間考査			
	5課～8課	聞くこと	a: 音声・語いなど理解を深める b: 情報や考えの概要を的確に活用できる c: 話し手に配慮し、主体的にコミュニケーションを図ろうとする	個別の面接テスト（NET による）、
		読むこと	a: 語彙、表現など理解を深める b: 情報や考えの概要を的確に活用できる c: 書き手に配慮し、背景にある文化に対する理解を図ろうとする。	面接テスト、課題
		話すこと（発表）	a: 目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる b: 情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えたりできる c: 聞き手・話し手に配慮し、主体的にコミュニケーションを図ろうとする	個別の課題発表
		書くこと	a: 語彙、表現、文法、言語の知識を、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる b: 日常的な話題や社会的な話題について、情報や考えなどの概要や要点、詳細、書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えたりできる c: 読み手に配慮しながら、主体的・自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている	課題・レポート（要約、下調べ、等）
	期末考査			
2	9課～12課	聞くこと	a: 音声・語いなど理解を深める b: 情報や考えの概要を的確に活用できる c: 話し手に配慮し、主体的にコミュニケーションを図ろうとする	個別の面接テスト（NET による）、
		読むこと	a: 語彙、表現など理解を深める b: 情報や考えの概要を的確に活用できる c: 書き手に配慮し、背景にある文化に対する理解を図ろうとする。	面接テスト、課題
		話すこと（やり取り）	a: 目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる b: 情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えたりできる c: 聞き手・話し手に配慮し、主体的にコミュニケーションを図ろうとする	個別の課題発表
		書くこと	a: 語彙、表現、文法、言語の知識を、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる	課題・レポート（要約、下調べ、等）

※令和４年度以降入学生用

			b: 日常的な話題や社会的な話題について、情報や考えなどの概要や要点、詳細、書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えたりできる c: 読み手に配慮しながら、主体的･自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている	
	中間考査			
	13 課～16 課	聞くこと	a: 音声・語いなど理解を深める b: 情報や考えの概要を的確に活用できる c: 話し手に配慮し、主体的にコミュニケーションを図ろうとする	個別の面接テスト（NET による）、
		読むこと	a: 語彙、表現など理解を深める b: 情報や考えの概要を的確に活用できる c: 書き手に配慮し、背景にある文化に対する理解を図ろうとする。	面接テスト、課題
		話すこと（発表）	a: 目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる b: 情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えたりできる c: 聞き手・話し手に配慮し、主体的にコミュニケーションを図ろうとする	個別の課題発表
		書くこと	a: 語彙、表現、文法、言語の知識を、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる b: 日常的な話題や社会的な話題について、情報や考えなどの概要や要点、詳細、書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えたりできる c: 読み手に配慮しながら、主体的･自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている	課題・レポート（要約、下調べ、等）
	期末考査			
3	17 課～20 課	聞くこと	a: 音声・語いなど理解を深める b: 情報や考えの概要を的確に活用できる c: 話し手に配慮し、主体的にコミュニケーションを図ろうとする	個別の面接テスト（NET による）、
		読むこと	a: 語彙、表現など理解を深める b: 情報や考えの概要を的確に活用できる c: 書き手に配慮し、背景にある文化に対する理解を図ろうとする。	面接テスト、課題
		話すこと（発表）	a: 目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる b: 情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えたりできる c: 聞き手・話し手に配慮し、主体的にコミュニケーションを図ろうとする	個別の課題発表
		書くこと	a: 語彙、表現、文法、言語の知識を、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる b: 日常的な話題や社会的な話題について、情報や考えなどの概要や要点、詳細、書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えたりできる c: 読み手に配慮しながら、主体的･自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている	課題・レポート（要約、下調べ、等）
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度